

# 市民生活の充実につながる予算を! 令和3年度予算を審査しました

**一般会計合計 324 億 5,000 万円**  
(令和2年度 322 億 7,000 万円)

前年度比 **0.6% UP**

今期定例会に、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた、令和3年度予算が市長から提案されました。はじめに、予算の主な使い道についてお知らせいたします。

特別会計・企業会計の令和3年度会計別予算の状況 (千円)

会計名		予算額	会計名		予算額
特別会計	国民健康保険特別会計	7,480,000	企業会計	病院事業会計	1,013,363
	後期高齢者医療特別会計	987,000		水道事業会計	2,853,082
	介護保険特別会計	7,391,000		工業用水道事業会計	42,159
	介護サービス事業特別会計	22,000		公共下水道事業特別会計	3,638,257
	農業集落排水事業特別会計	540,000		一般会計も含めた予算合計	56,416,861

【参考】令和2年度当初予算合計 55,576,277

## 重要事務事業2021 7分野の主な事業

### 第4章 産業

- 農業・畜産生産基盤の整備・充実  
1,260,399 千円
- 日本一の栗の産地づくりの推進  
181,118 千円



### 第3章 健康・福祉

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築  
445,851 千円
- 子育て世帯に対する負担軽減  
680,812 千円



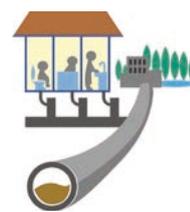
### 第2章 生活環境

- 消防・防災体制の強化  
759,052 千円
- 廃棄物処理体制の強化(一般廃棄物処理施設整備調査など)  
315,419 千円



### 第1章 都市基盤

- 重点道の駅整備  
1,337,735 千円
- インフラの長寿命化(上水道・下水道・橋梁)  
997,464 千円



令和3年度で選定された重要事務事業は全部で62あり、ここに載せた事業はほんの一部です。  
全ての事業は、市ホームページに掲載されておりますので、QRコードを読みとりご覧ください。



### 第7章 自治体運営

- 自治体DXの推進  
・行政手続きの原則オンライン化  
・キャッシュレス決済の導入 など  
131,917 千円



### 第6章 地域づくり

- 持続する地域活動への支援  
130,378 千円
- 移住推進による人材確保への推進  
36,355 千円



### 第5章 教育・文化

- GIGAスクール構想の推進  
81,623 千円
- 「日本一の図書館」サービスの展開(電子図書館など)  
120,016 千円





# 予算特別委員会の審査の経過

**予算案をどのように審査しましたか？**  
議会は予算特別委員会を設置し、3月8日～10日に審査を行いました。審査の過程での主な質疑、答弁および意見内容について紹介します。

## ICT教育の支援体制と教員の働き方改革支援とは

(議案第38号 学務課所管)

**問** 様々な支援員の報酬、約1億7千万円は何人分の予算か。  
**答** AETが16人、特別教育支援員が14人、スクールソーシャルワーカーが3人、算数・数学学力向上支援員が14人、教育支援員が11人、令和3年度から新たにICT教育指導支援員が4人分で計上している。

**問** ICT教育指導支援員の配置はどのようにするのか。  
**答** 各学校に週1回配置し、1人の支援員が4校を受け持つことになる。

**問** 教員の働き方改革が進められているが、いろいろな方を雇用する人員の拡大は必要なのか。  
**答** 発達障害を持った児童や不登校の人数も増えているという現状や、算数や数学の学力向上といった中で、それぞれ支援員の目的が違つ。多種多様な問題を抱えているので、先生方には教育に専念してもらい、その他の部分については教育委員会でもサポートする方針である。

## 自転車ネットワークの整備とユーザーの意見反映

(議案第38号 管理課所管)

**問** 自転車ネットワーク路線を整備予定している場所はどこか。  
**答** 新規事業として整備する事業であり、市内全体で26路線が計画されているが、令和3年度には設計委託を発注し、設定されているルートの中で何ができるかを設計した後に、工事を実施していきたい。

**問** 実際に自転車に乗っている人の意見を入れてほしい。場所の選定にはサイクリング関係の外部の方は関わっているか。  
**答** 計画策定においては企画政策課で委員会を設置し、茨城県や警察、自転車ユーザーとして大島自転車などの方々が入っていた。このような方々に意見を聞いて、岩間地区では愛宕山、友部地区は市街地、笠間地区では芸術の森公園付近が選定されている。



## サテライトオフィスの設置と移住支援の取り組み

(議案第38号 企画政策課所管)

**問** サテライトオフィスでは、どのような場所でのような利用者を誘致するのか。  
**答** 令和2年度には、エトワや旧ギャラリーなどで民間企業がワーケーションなどの取り組みをスタートさせた。コロナ禍の影響で利用者の確保には至らなかったため、企業同士で会員を募っていたなど基本的には民間主導で利用者の確保を図ってもらい、それを笠間市が支援する仕組みを令和3年度も進めていきたい。

**問** 移住支援金制度は具体的にどのような事業か。  
**答** 国の制度に基づく事業であり、東京23区に在住または通勤している方々が地方に移住して、地方の企業に採用されて3カ月以上住むことを条件に支援金を交付する制度である。現在、ここにテレワークなど新しい要件が導入されてきていることも踏まえて事業を進めていく。

**問** 令和2年度に移住された方、テレワークで地方に戻ってきている方はいるのか。  
**答** 移住支援金制度により移住された方は今のところいない。ただし同様の制度で、地方での起業の支援金制度があり、これには該当しなかったが移住された方がいることは把握している。

## ゼロカーボンシティ宣言の自身とは

(議案第38号 環境保全課所管)

**問** 施政方針の中にゼロカーボンシティの宣言をすることがあったが、どのようなことを具体的にいうのか。  
**答** 環境寺子屋のWEB配信や、エコクッキング、廃プラスチックの部分も含めた先進事業の視察、シェアサイクルの活用などを実施する。一番大きなものとしては環境サポーターとして環境に興味のある人たちに登録していただき、環境に関する情報やイベントを広く発信してもらい、情報を共有してもらつことが大切だと考えている。

## 新しい農業としてのICT機器の導入支援体制は

(議案第38号 管理課所管)

**問** 主要農作物総合支援事業補助金は令和2年度にもあった事業だが、ICTを使った農業に支援していくという説明があったが、どのような支援をするのか。  
**答** 令和2年度には農業用ドローンに支援し、金額的には多くなかった。令和3年度ではICTコンバインが普及してきたため、2台分の予算1096万円の予算計上をした。

**問** ICTコンバインは団体に補助するのか。  
**答** 個人で大きく経営している認定農業者2名に補助する予定。

3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、すべての会計を原案のとおり可決しました。

定例会最終日(3月18日)の本会議で、田村泰之委員長が審査結果を報告し、採決の結果、令和3年度の全ての予算を可決しました。

### 【予算特別委員会 委員】

委員長	田村泰之
副委員長	坂本奈央
委員	安内貴克
委員	内田幸康
委員	田益村
委員	石上井
委員	小松崎